

荻原守衛(碌山) ロダンに影響されて彫刻家に転向、生命感あふれた衝撃的な造形で、将来を囑望されたが夭折。

おぎわらもりえ

琉球処分・・・1879 = 長野県穂高村で、農家荻原勘六・りょうの五男に生まれる。

明治14年政変1881 = 2歳 :

初の対等条約1888 = 9歳 :

帝国憲法発布1889 = 10歳 :

郡司千島探検1893 = 14歳 : 東穂高高等小学校を卒業、家業を手伝ううち、
日清戦争始・・・1894 = 15歳 : 東穂高禁酒会に入会、相馬愛蔵らの強い影響を受けて、キリスト教を志向、

白馬会・・・1896 = 17歳 : 心臓を病む。夜学会に入会。

八幡製鉄始・・・1897 = 18歳 : 相馬愛蔵が黒光と結婚し、相馬家で、初めて油絵(長尾李太郎「亀戸風景」)を見る。

子規句歌革新1898 = 19歳 : 機業家になろうと出奔するも連れ戻され、井口登源治がキリスト教思想に基づいて創立した(研成義塾)に参加して盛んに読書、禁酒会の幹事に選ばれるなどするうち、黒光に啓発され、

Bushidou・・・1899 = 20歳 : 井口に従って初めて上京し、巖本善治を訪問、植村正久らの説教を聞くなどした後、画家になろうと再上京、画塾(不同舎)に入って、小山正太郎に学び、

ビア国産化・・・1900 = 21歳 : 巖本善治の明治女学校敷地内に専用の小舎(深山軒)を建て、井口に従い内村鑑三の会に出席。

田中正造直訴1901 = 22歳 : 渡米を決意して受洗、ニューヨークに赴き、学僕となって、アート・スチューデント・リーグに入学、

教科書疑獄・・・1902 = 23歳 : ノスタルジーに悩むが、チェイス・スクールに転校、戸張孤雁を知る。

日比谷公園・・・1903 = 24歳 : フランスに渡り、中村不折に会い、アカデミー・ジュリアンで、デッサンなど学ぶうち、

日露戦争始・・・1904 = 25歳 : サロンでロダンの「考える人」を見て衝撃を受け、彫刻家に転向。アメリカに戻って、アート・スチューデント・リーグで、彫刻のためのデッサンを学ぶうち、

日露戦争終・・・1905 = 26歳 : 人道的見地から日露戦争を批判。柳敬助を知り、

満鉄発足・・・1906 = 27歳 : ニューヨークに来た高村光太郎を柳とともに訪ねた後、再び渡仏、アカデミー・ジュリアンの彫刻部に入り、碌山の号を用い始める。

韓国反日暴動1907 = 28歳 : 親交するようになった五来欣造の世話で、パリ郊外に移り、五来の仲介で、ロダンとの面会も実現。静養のためロンドンに渡り。高村と美術館巡りして、帰仏。校内コンクールでたびたび受賞し、

アラク 創刊・・・1908 = 29歳 : イタリア、ギリシア、エジプトを経て*帰国。第2回文展に滞欧作を応募、うち「文覚」が3等賞。戸張との親交が再開、中原悌二郎も知り、両者はやがて絵画から彫刻に転じる。相馬夫妻の経営する新宿中村屋近くにアトリエを建て、黒光との恋愛に悩むなか、荻原を中心に集まった青年美術家たちによって"中村屋グループ"が形成されて行く。

伊藤博文暗殺1909 = 30歳 : *第3回文展の「北条虎吉像」は3等賞となり、大いに注目されたが、

韓国併合・・・1910 = 31歳 : *吐血し急死。没後第4回文展で黒光をイメージした「女」が3等賞・文部省買上げとなった。